

第15編 消 防

消 防 本 部

1 消防職員・団員の定数と現員

(1) 消防職員

(令和3年4月1日現在)

区 分	消防正監	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	その他の職員	計
定 数	1	5	18	40	95	90	0	71	0	320

(2) 消防団員

(令和3年4月1日現在)

区 分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
定 数	1	5	18	18	61	78	329	510
現 員	1	5	18	18	52	61	256	411

2 市勢と現有消防勢力の対比

(1) 本部・署

(各年4月1日現在)

年別	区分 職員数	消防職員1名に対する			署・支署に対する			消防車1台に対する		
		面積km ²	世 帯	人 口	面積km ²	世 帯	人 口	面積km ²	世 帯	人 口
元	320	6.68	307	552	213.60	9,818	17,655	142.40	6,545	11,770
2	326	6.55	301	531	213.64	9,801	17,319	142.43	6,534	11,546
3	320	6.68	305	534	213.64	9,770	17,181	133.53	6,106	10,675

(2) 消防団

(各年4月1日現在)

年別	区分 団員数	消防団員1名に対する			1分団に対する			消防車1台に対する		
		面積km ²	世 帯	人 口	面積km ²	世 帯	人 口	面積km ²	世 帯	人 口
元	425	3.2	221	397	75.7	5,226	9,374	47.00	3,244	5,818
2	421	3.2	223	393	75.7	5,219	9,199	47.01	3,240	5,710
3	411	3.3	228	397	75.7	5,202	9,074	47.01	3,229	5,632

(3) 消防車・救急車の出動回数について

ア 火災・警戒出動概要

令和2年中の出動状況は57件の火災が発生し延べ427台の車両、1,797名の隊員が出動し消火活動を実施、その概要は次表のとおりである。

(ア) 火災出動状況

区分	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
		火災件数	3	2	4	9	8	3	4	6	5	3	4	6
出動台数	消防署	13	19	23	57	49	14	38	42	31	21	17	29	353
	消防団	2	4	4	11	11	2	11	11	5	5	3	5	74
	計	15	23	27	68	60	16	49	53	36	26	20	34	427
出動人員	消防署	49	68	70	202	193	47	130	152	110	87	62	98	1,268
	消防団	9	18	26	65	100	9	69	112	39	32	23	27	529
	計	58	86	96	267	293	56	199	264	149	119	85	125	1,797

(イ) 警戒出動状況

出動種別	区分 件数	出動台数(台)			出動隊員数(人)		
		消防署	消防団	計	消防署	消防団	計
警報器等	64	125	3	128	489	24	513
油・ガス	101	203	0	203	797	0	797
集合煙突	1	1	0	1	6	0	6
異常燃焼	5	18	0	18	80	0	80
その他	665	1,502	12	1,514	5,741	78	5,819
計	836	1,849	15	1,864	7,113	102	7,215

(ウ) 火災・警戒出動状況の推移

区分		年次別	30	元	2
火災出動	件数(件)		50	86	57
	台数(台)		362	665	427
	人員(名)		1,538	2,485	1,797
警戒出動	件数(件)		963	784	836
	台数(台)		2,256	1,783	1,864
	人員(名)		8,464	6,605	7,215

イ 救助出動概要

令和2年中の救助出動は41件で、これに対し242台の車両、990名の隊員が出動し業務を遂行した。
事故種別ごとに出動件数をみると、交通事故及び水難事故が全体の70.7%を占めている。

(7) 前年比救助出動状況

年別比較 件数	2(A)	元(B)	比較増減	
			件数(C)	(C)／(B)
出動件数	41	52	11減	21%減

(イ) 事故種別出動状況

種別 件数等	交通事故	水難事故	機械による 事故	建物等による 事故	その他	計
出動件数(件)	17	12	1	6	5	41
出動台数(台)	76	79	3	57	27	242
出動人員(名)	304	276	14	284	112	990

(ウ) 署々別出動状況

方面別 件数	中央方面(うち東方面)	西方面	計
出動件数(件)	23(11)	18	41

(エ) 救助出動件数の推移

年次別 件数	30	元	2
出動件数(件)	49	52	41

ウ 救急活動概要

(7) 資格者及び救急隊の状況（令和3年4月1日現在）

- a 救急救命士 資格者 77名
- b 救急課程 資格者127名
- c 救急隊の配置状況

- ・中央救急隊
- ・東救急隊
- ・愛国救急隊
- ・西救急隊
- ・阿寒救急隊
- ・阿寒湖温泉救急隊
- ・音別救急隊
- ・白糠救急隊

計 8 隊運用（全隊高規格救急自動車導入）

(1) 年次別救急出動状況

令和2年の救急出動件数は9,403件、搬送人員8,576人で、前年に比べ出動件数においては919件減少し、搬送人員においても1,049人減少した。これは、住民20人に1人が救急車によって搬送されたことになる。また、1日平均25.7件出動したことになる。

年次別救急出動状況の推移

年 別	30	元	2
出動件数（件）	10,104	10,322	9,403
搬送人員（人）	9,362	9,625	8,576
1日平均出動件数（件）	27.7	28.3	25.7

(2) 事故種別救急出動状況（令和2年）

救急出動件数を事故種別ごとにみると、下記のとおり急病が最も多く、次いで一般負傷、交通事故の順となっている。

区 分	急 病	一般負傷	交通事故	その他	計
件数（件）	6,321	1,181	331	1,570	9,403
全件数に対する割合（%）	67.2	12.6	3.5	16.7	100

3 令和2年の火災状況

火災件数	57件	(86件)
焼損床面積	1,015㎡	(4,149㎡)
焼損表面積	362㎡	(828㎡)
損害額	52,149千円	(503,730千円)
死者	3名	(3名)
負傷者	10名	(28名)
林 野	115 a	(45 a) ※ () は前年数値

(1) 火災概要

令和2年中の火災は57件発生し、前年の86件より29件（33.7%）減少、36世帯、61名が災した。火災種別では、建物火災35件（全火災の61.4%）、車両火災10件（全火災の17.5%）、林野火災2件（全火災の3.5%）、船舶火災1件（全火災の1.8%）、航空機火災の発生は無く、その他の火災9件（全火災の15.8%）となっている。

前年と比較すると建物火災は16件減少、車両火災は1件減少、林野火災は2件減少、船舶火災は1件

減少、航空機火災は前年と同様発生は無く、その他の火災は9件減少している。

建物焼損面積合計は、1,377㎡で前年の4,977㎡より3,600㎡減少し、建物火災1件あたりで比較すると焼損面積は1件あたり39.3㎡を焼失、前年の97.6㎡より58.3㎡の減少となっている。

損害額は、5,214万9千円で前年の5億373万円より4億5,158万1千円減少し、火災1件あたり91万5千円の損害を受けたことになる。

死者は3名で前年の3名から増減はない。負傷者は10名で前年の28名より18名減少、死者の発生した火災種別は建物火災が2件で前年の3件より1件減少、車両火災が1件で前年の0件より1件増加となっている。

(2) 火災統計

ア 月別火災状況

火災を月別にみると、4月が9件（全火災の15.8%）で最も多い。最も少ない月は2月の2件となっている。月平均4.8件の火災が発生している。

イ 出火原因別の火災発生状況

電気関係10件（17.5%）、たばこ7件（12.3%）、こんろ5件（8.8%）、放火・放火の疑い、ストーブ各3件（各5.3%）、風呂・かまど1件（1.8%）となっている。

4 消防車両等の現況

種 別	管 理 区 分						合 計
	消防本部	中央署	西署	東分署	消防団		
消防ポンプ自動車	普 通	-	1	-	1(1)	18	20(1)
	水槽付	-	3(1)	8(1)	3(1)	2	16(3)
はしご自動車	直 伸	-	1	1	-	-	2
	屈 折	-	1	-	-	-	1
化 学 消 防 車	-	-	1	1	-	-	2
特 殊 車	指 揮 隊 車	-	1	-	-	-	1
	機 材 運 搬 車	-	-	5	-	-	5
	小型はしご車（12m級）	-	1	-	-	-	1
	救 助 工 作 車	-	1	-	-	-	1
	災 害 支 援 車	-	-	-	1	-	1
	小型動力ポンプ付水槽車	-	1	3	-	-	4
	小型動力ポンプ積載車	-	-	-	-	9	9
救 急 車	-	3(1)	7(2)	2(1)	-	-	12(4)
そ の 他 の 車 両	緊急車	4	3	4	2	-	13
	その他	4	-	1	-	-	5
合 計		8	16(2)	30(3)	10(3)	29	93(8)

※（ ）内は予備車の内数を示す

5 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

(1) 防疫等作業手当支給事業

防疫等作業手当の特例による新型コロナウイルス感染症対応（疑いも含む）に従事した救急隊員等へ支給。

(2) 救急出動時等感染防止対策事業

救急隊員や消防隊員に対する新型コロナウイルス感染防止を目的とし、そのために必要な感染防止資器材の購入や医療廃棄物の処理等を行う。